

マコガレイの資源管理に向けた取組み（種苗放流）

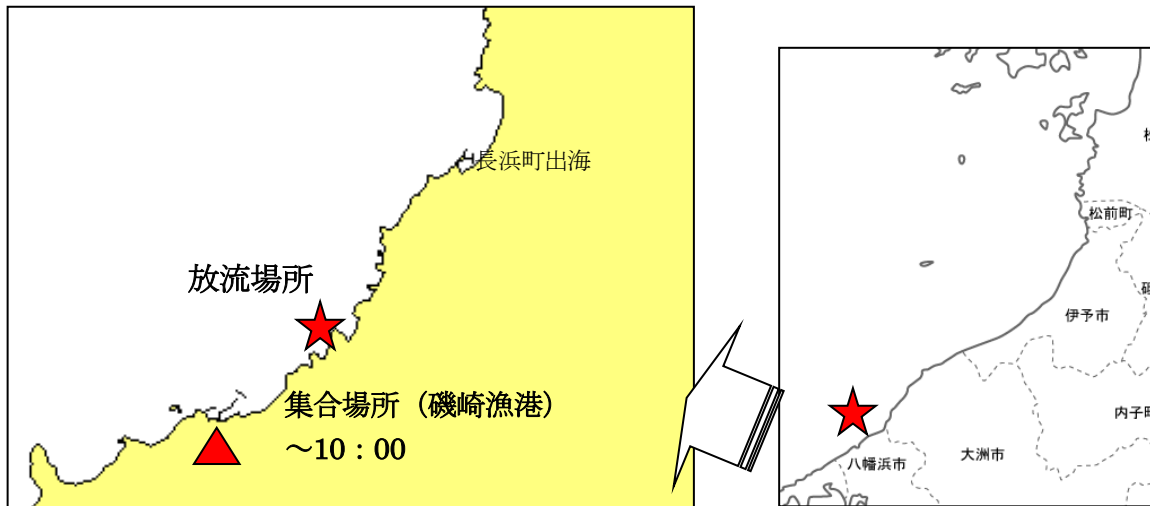
1. 事業主体：愛媛県資源管理・漁場改善協議会
2. 事業実施主体：栽培資源研究所
3. 目的：マコガレイ種苗の試験放流を実施して、稚魚期の移動経路や餌料環境等について追跡調査を行うことにより、マコガレイの資源回復に向けた知見を収集する。

過去の放流実績

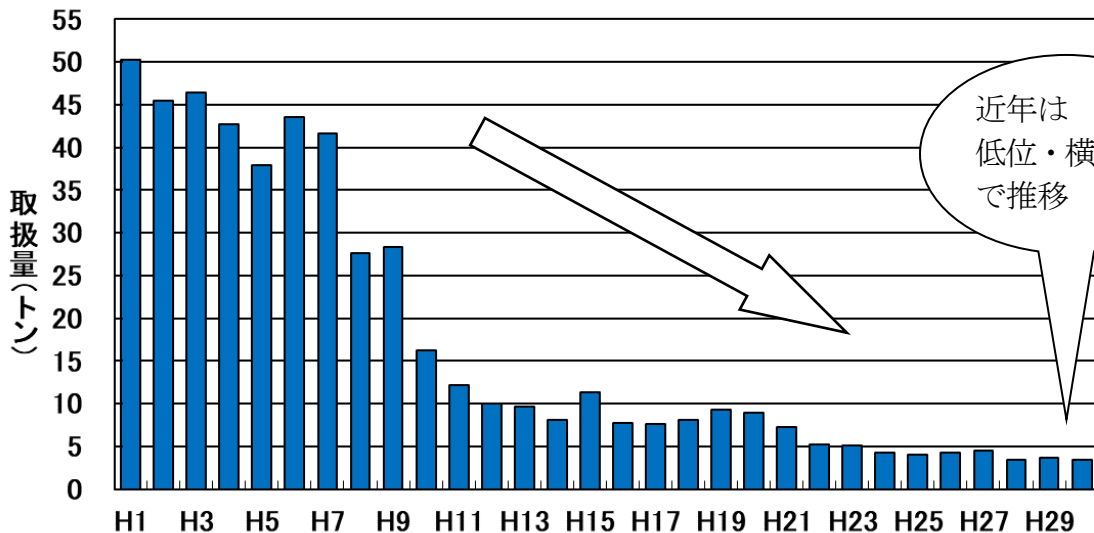
放流日	H24. 7. 23	H25. 6. 25	H26. 6. 9	H27. 6. 11
放流場所	伊予市下灘地先	伊予市下灘地先	伊予市下灘地先	八幡浜市磯崎地先
放流尾数	19,000 尾	25,000 尾	25,000 尾	25,000 尾

放流日	H28. 6. 24	H29. 6. 12	H30. 6. 22
放流場所	大洲市長浜町出海地先	八幡浜市磯崎地先	八幡浜市磯崎地先
放流尾数	20,000 尾	10,000 尾	10,000 尾

いずれも
全長 5 cm のマ
コガレイ種苗を
放流



マコガレイ種苗の試験放流場所



松山地方卸売市場における県内産マコガレイの取扱量

4. 試験放流の概要

前年度に引き続き、増殖場造成事業によって整備した増殖礁近隣へ、耳石染色で標識を施したマコガレイ種苗を放流する。方法は、調査船と増殖礁をロープで固定して、ダイバーが種苗を入れた放流かごを海底まで降ろして放流する（1箇所）。加えて、放流直後の行動、捕食魚の状況などを記録し、適宜、ビデオ及びカメラにより撮影を行う。

なお、試験放流が周辺のマコガレイの漁獲にどう影響するのか、後日の市場調査などにより知見を収集する。



(参考) 平成30年度の放流状況（八幡浜市磯崎地区）